



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年6月号 代表理事 高橋絹世(462-9912)
身近な自然を知り守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>
湧き水の会の28年度 4月・5月の保全活動

1. 富澤湧水を含む斜面林「白子宿特別緑地保全地区」の保護保全について

特別緑地保全地区の指定を受けて、湧水と斜面林の森全体の様子を見ながら、湧水や森の植生調査をし、生き物、野鳥などの生息も含めた保全をゆっくと進めていこうと思います。



斜面林シュロの枯れ枝落し



特別緑地内の石段整備

2. 新倉ふれあいの森都市整備課との現地打ち合わせタケノコ掘り準備

新倉のタケノコの時期を向かえ、近隣の方々と協働の姿勢で、保全を進めていくことを目指しています。都市整備課との協働事業を継続し、地域に還元しようとして保全を進めています。



高木剪定



中蔦課長ふれあいの森にて 都市整備課と現地打合せ

3. 大坂ふれあいの森・白子大坂ふれあいの森の会に協力し保全が進む

ふれあいの森の脇からの足がかりをつくり斜面保護。貴重種や斜面保全の活動に役立ちます。



竹で階段づくり 急傾斜地に足がかり



見事に咲き誇るイチリンソウ

4. 樹林公園パートナーズと都市整備課、当会の活動について話し合い実施

指定管理者が樹林公園パートナーズに変わり、朝霞県土の濱田氏、都市整備課広瀬さんとパートナーズの斉藤さんを交えて会合を開きました。当会の長年の活動への理解と今後について話し合いました。



濱田氏と広瀬氏、樹林公園パートナーズと当会で打合せ



ヒロハアマナ保護区草刈



ぐんぐん成長松ぼっくりも見られます